



年 組 名 前

## 道新 ワークシート

地域や母校から3600枚を超える書き損じはがきが寄せられ、喜ぶ札幌清田高グローバルコースの2年生たち



## 書き損じはがき カンボジアの子の学資に

# 札幌清田高生 3600枚集めた

カンボジアの子どもたちの学資金を支援しようと、札幌清田高(札幌市清田区)普通科グローバルコースの2年生38人が、地域や母校の中学の協力を得て、3600枚超の書き損じはがきを集めた。公益財団法人国際センター(東京)が運営する「ダルニー奨学金」に寄贈し、換金されてカンボジアの子どもたちが中学に通えるよう役立てられる。

同センターによると、書き損じはがき400枚で子ども1人が1年間中学校に通う金額をまかなえる。

同コースの2年生は例年、途上国産品を適正な価格で販売するフェアトレードを学校祭で催し、益金を同奨学金に贈ってきた。本年度は新型コロナウイルスの影響で学校祭は中止に。2年に1度、希望者がカンボジアで行ってきたボランティア実習も中止となった。そこで、海外とのつながりを閉ざさない方法を探したところ、同奨学金が書き損じはがきを募って

## 地域も協力「感謝でいっぱい」

いることが分かり、協力することにした。昨年12月に「国際協力」の授業でプロジェクトを立ち上げ、放課後などを活動にあて、回収のための投函ポストやPRポスターを作った。

生徒たちは、より多くの支援を届けようと、校内に呼びかけるだけでなく、校外にも働きかけることにした。清田区の北野まちづくりセンターに依頼してポストを置き、地区の回覧板にPRチラシを入れてもらった。自分たちの出身中学にも電話をして協力を求め、17校から善意が寄せられた。

当初は800枚ほど集まればと予想していたが、結果は大きく上回った。プロジェクトリーダーの杉沢由羽さんは「ここまで集まるとは思わなかった。たくさんの人に協力してもらい感謝の気持ちでいっぱい」、上田やこさんは「知らない所に困っている人がいて、その人たちを支援できることを伝えられてよかった」と話す。

(嘉指博行)





年 組 名前

---

# 道新のワークシート

①札幌清田高校生が書き損じはがきを寄贈した相手を書きなさい。また、その相手にこれまで贈っていたものも書きなさい。

相手：

---

これまで贈ってきたもの：

---

②書き損じはがきをより多く回収するために行った校外への働きかけを三つ書きなさい。

・

---

・

---

・

---